

(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事

図面リスト

L-01	表紙・図面リスト
特-01	特記仕様書(1)
特-02	特記仕様書(2)
特-03	特記仕様書(3)
A-01	案内図・配置図
A-02	R階平面図
A-03	3階天井伏図
A-04	部分詳細図(1)
A-05	部分詳細図(2)
A-06	現況 矩計図【参考図】
A-07	仮設計画図 (1階平面図) 【参考図】
A-08	仮設計画図 (3階平面図) 【参考図】
A-09	仮設計画図 (飛散防止対策)【参考図】

記 事	業務名称	2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事 設計・監理業務	工事名称	(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事	設計年月	令和2年12月
	図面名称	表紙・図面リスト	縮尺	-	図面番号	L-01

脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の仕様
脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の仕様
屋根露出防水絶縁断熱工の場合、ルーフレンド回り及び立上り部周辺の断熱材の張り
じまい位置 ※ 図示
屋内防水
工法 種類 施工箇所 保護層
P1E E-1 設ける
P2E E-2 設けない
E-1の場合で工程3を行う部位(※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝 図示
改質アスファルトシート防水 [3.4.2.3]
工法 種類 施工箇所 断熱材 [G] 仕上塗料 高日射反
射率防水
の適用 [G] 備考
M4S AS-T1 AS-T2 AS-J2 ※製造所の
指定による
M3AS AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3 ※製造所の
指定による
M3ASI M4ASI POASI ASI-T1 ASI-J1 ※製造所の
指定による
断熱材(種類)
※硬質ウレタンフォーム
断熱材2種1号又は2
号
(厚さ)
※25mm
・50mm
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様
脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
合成高分子系ルー
フィングシート防水 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]
工法 種類 施工箇所 断熱材 [G] 仕上塗料 高日射反
射率防水
の適用 [G] 備考
POS S-F1 S-F2 S-M1 ※製造所の
指定による
S-M2 S-M3 ※製造所の
指定による
S3S S-F1 ※製造所の
指定による
M4S S-M1 S-M2 S-M3 ※製造所の
指定による
POS1 S3S1 S4S1 M4S1 SI-F1 (材質)
※改修標準仕様書3.5.2
(c)(3)(ii)による
(厚さ)
※25mm・50mm
SI-F2 (材質)
※改修標準仕様書3.5.2
(c)(3)(i)による
SI-M1 (材質)
※改修標準仕様書3.5.2
(c)(3)(i)による
(厚さ)
※25mm・50mm
S1-F1、S1-F2、S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム
※設けない 設ける
S1-M2の絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
S-M2及びS1-M2の立上り部の工法
※接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ※1.5mm) ・ 機械的固定工法

屋内防水
防水層の種類
種類 施工箇所 保護層
平場のモルタル塗り
立上り部の保護モ
ルタルの厚さ
※7mm以下
S-C1 床塗り
下地モルタル塗り
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
固定金具の材質及び寸法形状
※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工
したもので、厚さ0.4mm以上のもの
脱気装置の種類及び設置数量
接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合)
行う(図示) 行わない
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)
行う(図示) 行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
防水層の種類 [3.6.2.3]
工法 種類 施工箇所 仕上塗料 高日射反
射率防水
の適用 [G] 備考
POX X-1 X-2 ※2成分アクリ
ルウレタン
樹脂系
※製造所の
指定による
脱気装置
設ける 設けない
改修用ドレン
設ける 設けない
L4X X-1 X-2 ※2成分アクリ
ルウレタン
樹脂系
※製造所の
指定による
脱気装置
設ける 設けない
P1Y Y-2 保護層
設ける 設けない
P2Y Y-2 保護層
設ける 設けない
M4X 高強度
ウレタン
塗膜防水 屋上
立上り天端 ※2成分アクリ
ルウレタン
樹脂系 ※製造所の
指定による
脱気装置
設ける 設けない
改修用ドレン
設ける 設けない
X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様
X-1(絶縁工法)の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様
Y-1、Y-2の工程数及び各工程の使用量
※改修標準仕様書表3.6.2による
主材料の製造所の仕様
※高強度ウレタン塗膜防水は剛エフワンエス RP253同等品とする
シーリング改修工法の種類
シーリング充填工法
シーリング再充填工法
拡張シーリング再充填工法
ブリッジ工法
ボンドブローカー張り ・ 適用する ・ 適用しない
エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による
シーリング材の種類(記号)
防水立上り PU-1
屋上点検ハッチ 水切り MS-2
シーリング材表面に仕上塗料、塗装等 ※行う 行わない
シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書表3.7.3(1)~(2)による
接着試験 ※簡易接着性試験 ※引張接着性試験
といの材質 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 [3.8.2.3]
ルーフレンド
種類 施工箇所
○ろく屋根用(○縦型・横型) 屋上 改修用ドレン
・バルコニー用
・バルコニー中継用
ルーフレンドの材質:
※本体等の鋼鉄品の種類は、JIS G 5501(ねずみ錆鉄品)によるFC150又はFC200とし、
張掛け幅は100mm以上とする。
と受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔
※改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの
多電地域 ・ 適用する ・ 適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
鋼管製といの防露巻き ・ 適用する(工法: ※標準仕様書表13.5.4による) ・ 適用しない
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示
鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による
たてどい受金物の取付け ※図示
アルミニウム製笠木 [3.9.2.3]
種類 ・オープン形式(・押出250形・押出300形・押出350形)
○板材折曲げ形(○オープン形式・シール形式)
本体幅(250)mm 板厚(※2.0mm mm)
表面処理 種別(D)種
色合等 ・標準色() ・特注色()
既存笠木等の撤去 ○行う(範囲 ※図示) ・ 行わない
下地補修の工法 ※図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の(○1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

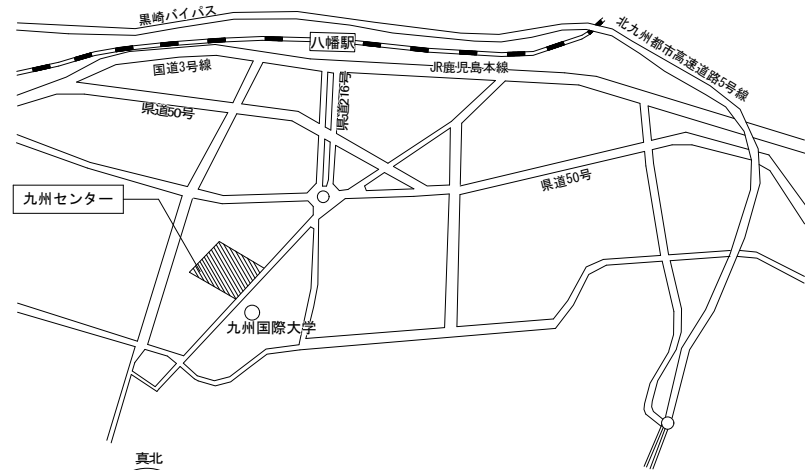
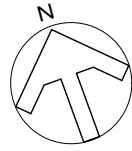
防水改修フロー及び数量
○既存保護層の補修及び処置
防水面調査(施工数量調査)
ひび割れ部補修 欠損部改修 浮き部補修 ざい弱部補修 既存目地欠損部補修 既存目地欠損部補修(脱気に利用する場合)
アスファルト防水工用シート材(幅2mm未満) Uカットのうえポリウレタン系シーリング材(幅2mm以上) ポリマーセメントモルタル補修 ポリマーセメントモルタル補修 撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修 ケレン等のうえ、ポリマーセメントベースト補修 アスファルト防水工用シート材 ポリマーセメントモルタル補修 既存目地撤去のうえポリウレタン系シーリング材
0m 0m 0m 0m2 0m2 0m2 0m 0m
シーリング改修
シーリング再充填工法
mm x mm 0m mm x mm 0m
内装改修工事
① 他部位との取り合い等
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示
既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修
※既存のまま 図示
② せつこうボードその他ボード及び合板張り
種類 JISの記号 厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 [G] HW ・15 ・20 ・25
・中質木毛セメント板 [G] MW ・15 ・20 ・25
・普通木毛セメント板 [G] NW ・15 ・20 ・25
・硬質木片セメント板 [G] HF ・12 ・15 ・18 ・21
・普通木片セメント板 [G] NF ・30
・けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2(無糸織) ・6 ・8
1.0FK
○ロックウール化粧吸音板 DR ○フラットタイプ(・9(不燃) ○12(不燃)
・凹凸タイプ(・12(不燃) ・15(不燃)
)
・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・25
・グラスウール吸音ボード32K GW-B ・25(ガラスクロス包)
○せつこうボード GB-R ※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.6(準不燃)
・不燃積層せつこうボード GB-NC 9.5(不燃) 化粧無(下地張り用)
化粧有(トラバチン模様)
・シーリングせつこうボード GB-S 12.5(※不燃・準不燃)
・強化せつこうボード GB-F ・12.5(不燃) ・15(不燃)
・せつこうラスボード GB-L 9.5
・化粧せつこうボード(木目) GB-D 12.5(不燃) 幅440mm程度
模様(・縦目・板目) 専用下地材有り
・化粧せつこうボード GB-D 9.5(準不燃)
・化粧合板 [G] 表板の樹種名
生地、透明塗料塗り
(※ラワン程度)
不透明塗料塗り
(※しな程度)
板面の品質()
厚さ(mm)()
接着の程度(・1類 ・2類)
防虫処理(・行う 行わない)
・天然木化粧合板 [G] 樹種名()
接着の程度(・1類 ・2類)
厚さ(mm)()
防虫処理(・行う 行わない)
・特殊加工化粧合板 [G] 化粧加工の方法(・オーバーレイ・プリント・塗装)
表面性能()タイプ
接着の程度(・1類 ・2類)
厚さ(mm)()
防虫処理(・行う 行わない)
・メラミン樹脂化粧板
・ポリエステル樹脂化粧板
・ミディアムデンシティファイバーボード [G] MDF ・3 ・7 ・9 ・12
・単板張り
・パーティクルボード [G] ・無研磨板 VN ・研磨板 VS
・10 ・12 ・15 ・18
・化粧パーティクルボード [G] ・単板オーバーレイ DV
・プラスチックオーバーレイ DO
・塗装 DC
・10(難燃) ・12(難燃)
・ハードボード(素地) [G] HB ・無研磨板(・スタンダード・テンバード RN)
・研磨板(・スタンダード・テンバード RS)
・ハードボード(化粧) [G] ・内装用D1・外装用DE
・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード IB A級(・天井仕上げ ・内装仕上げ)
・9 ・12 ・15 ・18
せつこうボード等の下地は図示による。
軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材
※シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
合板類の張付け ※B種 ・ A種
せつこうボードの目地工法 ・ 仕上表による

⑦ 塗装改修工事
① 材料
屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]
※規制対象外
防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・ 次の箇所を除き防火材料とする()
② 下地調整
塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1~7]
※塗替え面積の30%
下地調整
下地調整の種類 下地調整の種別 下地調整の種別
木部 ※RB種 ・ RA種 ・ RB種
鉄鋼面 ・ アルミ面 ※RB種 ・ RA種
亜鉛めっき鋼面 ※RB種 ・ RA種
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具等) ※RB種 ・ RC種
モルタル面、プaster一面 ※RB種 ・ RA種 ・ RB種
コンクリート面(DP以外) ※RB種 ・ RA種
ALCパネル面
押出成形セメント板面 ・RB種 ・RC種 ・RA種 ・RB種 ・行う
コンクリート面(DP) ・RB種 ・RC種 ・RA種 ・RB種 ・行う
せつこうボード面、その他ボード面 ※RB種 ・ RA種 ・ RB種
③ 錆止め塗料塗り
錆止め塗料塗りの種別 [7.3.2.3]
塗 装 面 塗料の種類 工程の種別
鉄鋼面 E-P-G以外 塗替え A種 ※C種
アルミ面 新規見え隠れ A種 ※A種
E-P-G 塗替え ※B種 ・ A種 ※C種
新規見え隠れ ※B種 ・ A種 ※C種
亜鉛めっき鋼面 E-P-G以外 塗替え ※A種 ・ ※C種
新規鋼製建具等 ※A種 ・ ※C種
E-P-G 塗替え C種 ※C種
④ 仕上げ塗料塗り [7.4.2~7.1.4.2]
塗装の種類 塗装面 工程
・合成樹脂鋼合ペイント塗り(SOP) 木部屋外 ※B種 ・ ※A種
木部屋内 ※B種 ・ ※B種
塗料の種類 ※1種 ・ 2種 鉄鋼面 ※B種 ・ ※A種 ・ ※B種
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外) ※B種 ・ ※B種
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具) ※A種 ・ ※B種
・クリアラッカー塗り(CL) 木部 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE) 屋内木部 表7.6.1
鉄鋼面 表7.6.2
亜鉛めっき鋼面 表7.6.3
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種
○耐水性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 ・ A種 ○B種 A種
アルミ面 ・ C種
○1級 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 A種
・2級 ・ C種
・3級
コンクリート面及び
押出成形セメント
板面 ・ A-1種 ・ A-1種
・ B-1種 ・ B-1種
・ C-1種 ・ C-1種
○つや合成樹脂エマルジョン
ペイント塗り(E-P-G) コンクリート面 ※B種 ・ ※A種 ・ B種
モルタル面 ※B種 ・ ※A種 ・ B種
プaster一面 ・ A種 ・ B種
せつこうボード面 ※B種 ・ ※A種 ・ B種
屋内木部 ※A種
屋内鉄鋼面 ※B種 ・ ※A種 ※B種
屋内重荷めつき面 ※B種 ・ ※A種 ※B種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(E-P) ※B種 ・ ※A種 ※B種
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(E-P-T) ※B種 ・ ※A種 ※B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種
・オイルステイン塗り(OS)
(塗料・水性・油性)
・木材保護塗料塗り(WP) ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種
つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プaster一面、せつこう
ボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきり
※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしきりシラーとする
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり
※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしきりシラーとする
・高日射反射率塗料塗り[G]
下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) ・ RA種 ※RB種 ・ RC種
工程 塗料その他 塗付量
規格番号 規格名称 種類 等級 (kg/m2)
塗料塗り JIS K 5675 屋根用高日射 2種 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 塗料製造所の
仕様による
⑨ 環境配慮改修工事
1 断熱アスファルト
防水改修工事
3章防水改修工事による [9.2.2~3]

⑩ その他	1 表示	(20.2.10) 案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示
	2 ブラインド	(20.2.12) 形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅 (mm) ボックス レールの材質 幅・高さ 取付箇所 ・横形 ※手動 ※ギア式 ※アルミニウム ※25 ※鋼製 ※図示 ・コード式 ・操作棒式 ・電動 - ・縦形 ※手動 ※2本操作 ※アルミスラット ・80 アルミニウム ※図示 ・コード式 ・クロススラット ・100 合金製 ・1本操作 ・コード式 ・電動 - アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ☐ とする。
	3 ロールスクリーン	(20.2.13) 材種 操作方法 遮光性能 寸法 (mm) 取付箇所 備考 ・ガラス繊維製 ・電動式 ・1級 ※ 図示 ※ 図示 ・合成・天然繊維製 ・スプリング式 ・2級 ・木製 ※ チェーン式 ・3級 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様
	4 カーテン	(20.2.14) 形式 開閉操作 ひだの種類 きれ地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考 ・シングル ・片引き ・手引き ・フランスひだ ※ 図示 ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、つまひだ ・電動 ・ブレンヒだ、片ひだ (暗幕) ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ☐ とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上
	5 カーテンレール	(20.2.14) 材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※ 10-90 仕上げ ※ アルマイト 形状 ※ 角形
	6 ブラインドボックス及びカーテンボックス	溝型×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 材質 ・ 集材材 (仕上げ) ・ アルミニウム製 押し出し型材 (市販品) 表面処理 ・ BC-1 ・ BC-2 (※標準色 ()) ・ 特注色 ()) ・ 鍍銀 (仕上げ)
	⑦ 天井点検口	材種 寸法 (mm) 形式 外枠 内枠 ※ アルミニウム製 ※ 450×450 ※ 一般形 ・ 屋内外用 ※ 額縁タイプ ※ 額縁タイプ ・ 600×600 ※ 屋内用 ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ ・ 気密形 (品質・性能) 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナースペース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押し出し型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性能 (繰り返し開閉試験) (1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたさず異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 内蓋 (内枠) の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕上げ材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」の0B-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。 (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。

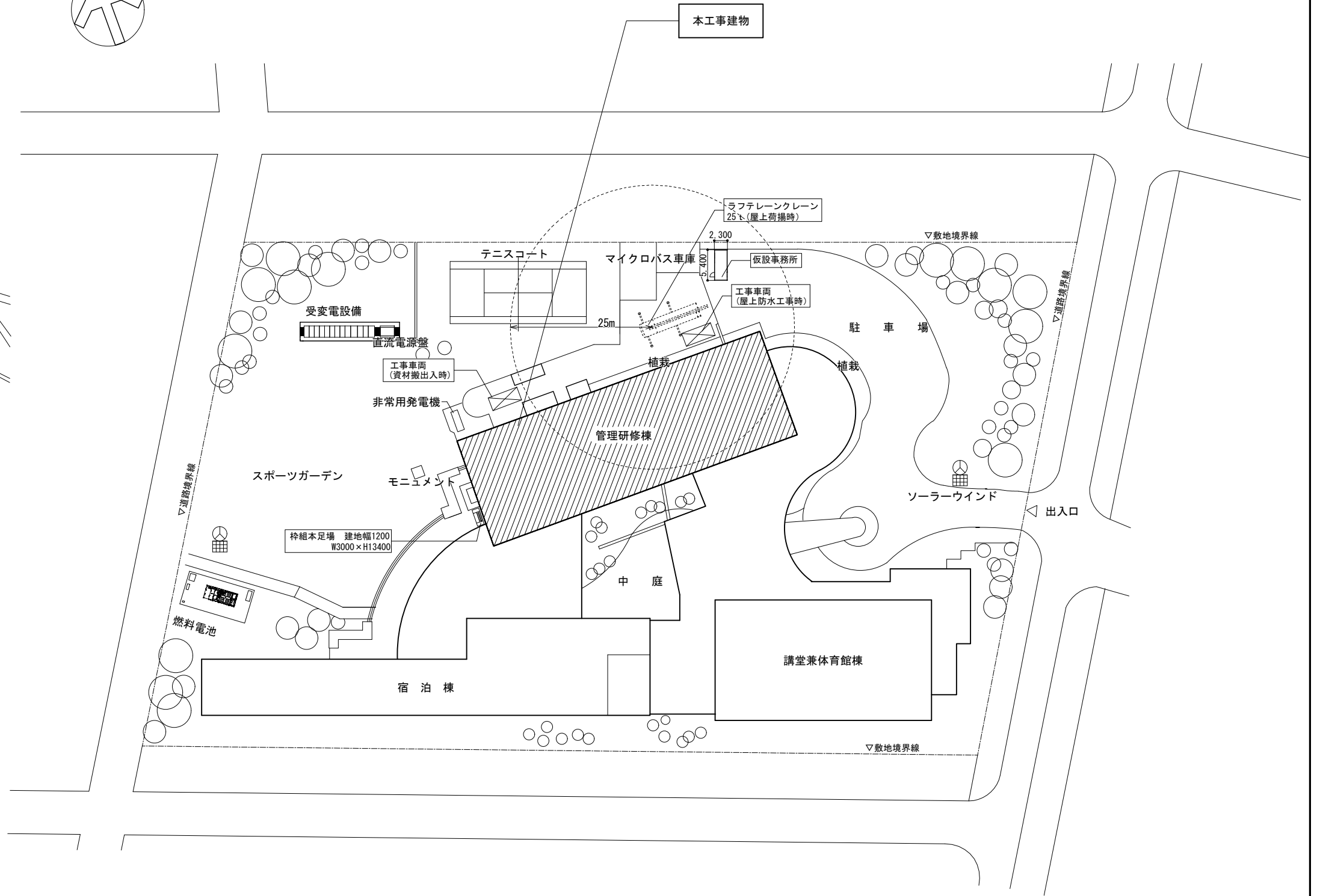
⑧	工事履行報告書 請負者は、建設工事請負契約書に従い各月末に工事履行報告書 (別添様式) に次の書類を添えて提出すること。 1) 各月の予定出来高を記入した計画工程表に実施工程 (朱書き) 及び月末の出来高を記入したものの 2) 月末の出来高計算書 3) 工事進捗状況写真 4) 工事日報															
⑨	施工体系図及び施工体制表 請負者は、国土交通省令で定めるところにより、当該建設工事における各下請負人の施工の分担関係を表示した「施工体系図」を作成し、契約後すみやかに発注者に提出するものとする。なお、施工体系図には「下請契約書」又は「注文請書」の写しを添付するものとする。 また、下請負代金額の総額が3,000万円 (建築一式工事にあつては4,500万円) 以上となるときはこれとは別に「施工体制表」を作成し、工事現場に備えなければならない。 なお、全ての工事において建設業許可を示す標識、及び下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を、工事関係者や公衆が見やすい場所に掲げなければならない。															
⑩	工事の下請負 1) 請負者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 (1) 請負者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 (2) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。															
⑪	労災事故等の対応と報告 請負者は、工事の施工中に労災事故等が発生した場合は、負傷者の救護設置 (救急車の手配を含む) 及び二次災害の応急防止措置をとったうえ、直ちに監督員に通報するとともに、事故報告書を発注者に提出しなければならない。															
⑫	建設工事に関する保険等 1) 請負者は、工事目的物及び工事材料等を火災保険、建設工事保険その他の保険に加入しなければならない。 2) 請負者は、本工事の全ての物体に対して自己の責任を持って、妥当な金額な損害保険 (火災保険を含む) を付し、その写しを発注者に提出しなければならない。															
⑬	現場代理人及び主任 (監理) 技術者の腕章着用義務 請負者が配置する現場代理人及び主任 (監理) 技術者は、腕の見やすい箇所に腕章を着用するものとする。腕章の仕様については、下記例によるものとする。なお、これにより難しい場合は監督員と協議しなければならない。 例1: 現場代理人の場合 例2: 主任 (監理) 技術者の場合 例3: 現場代理人と主任 (監理) 技術者を兼務している場合															
⑭	現場代理人の常駐義務の緩和措置 本工事は、建設工事請負契約書に規定する現場代理人の工事現場への常駐義務につき、特に当機構が認めた (他の工事と兼任できる) 場合に (該当する、該当しない。) ただし、本工事と現場代理人を兼任できるのは、当機構の定める要件をすべて満たすものとして、現場代理人兼任届出書により当機構の承諾を得た工事に限る。															
⑮	現場代理人の兼任を認める要件 次に掲げる要件をすべて満たす場合に、2件の工事まで、現場代理人の兼任を認めることとする。 1) 2件の工事現場が、直線距離で5キロメートル以内であること。 2) 発注者又は監督員が求めた場合、現場代理人又は現場代理人に代わる技術者が2時間以内に現場に向かう等の対応を取ること。															
⑯	暴力団関係者等による不当介入の排除対策 請負者は、当該工事等にあつては暴力団関係者等から不当介入を受けた場合は拒否するとともに、発注者に報告し、かつ、警察に届けなければならない。 なお、下請業者等に対しても同様の対応を行うよう周知徹底すること。															
⑰	保証の期間 保証の期間は工事完成から下記のとおりとし、保証書を完成後速やかに提出すること。 <table border="1"> <tr> <th>工 種</th> <th>名 称</th> <th>保証期間 (年)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・外壁改修 ・吹付工事</td> <td>・薄付け仕上塗材</td> <td>7年以上</td> </tr> <tr> <td>・アクリルリシン ・弾性リシン</td> <td>2年以上</td> </tr> <tr> <td>・複層仕上塗材</td> <td>3年以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○防水工事</td> <td>・アクリルタイル ・防水形複層塗材</td> <td>4年以上</td> </tr> <tr> <td>○塗膜防水</td> <td>20年以上</td> </tr> </table> ※保証書は、請負者・施工者・メーカーの3社連名によるものとする。	工 種	名 称	保証期間 (年)	・外壁改修 ・吹付工事	・薄付け仕上塗材	7年以上	・アクリルリシン ・弾性リシン	2年以上	・複層仕上塗材	3年以上	○防水工事	・アクリルタイル ・防水形複層塗材	4年以上	○塗膜防水	20年以上
工 種	名 称	保証期間 (年)														
・外壁改修 ・吹付工事	・薄付け仕上塗材	7年以上														
	・アクリルリシン ・弾性リシン	2年以上														
	・複層仕上塗材	3年以上														
○防水工事	・アクリルタイル ・防水形複層塗材	4年以上														
	○塗膜防水	20年以上														
⑱	その他 ○本工事の敷地内は終日 禁煙 となっているので、全ての工事関係者に周知、指導し、これを遵守すること。喫煙は指定された喫煙所で行うこと。 ○屋上端部作業時は、親綱、安全帯等転落防止措置を講じる事。 ○作業員の駐車場は、周辺のコインパーキングを利用すること。															

記 事	業務名称	2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事 設計・監理業務	工事名称	(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事	設計年月	令和2年12月
	図面名称	株式会社 線企画設計 福岡支店	縮尺	-	図面番号	特-03



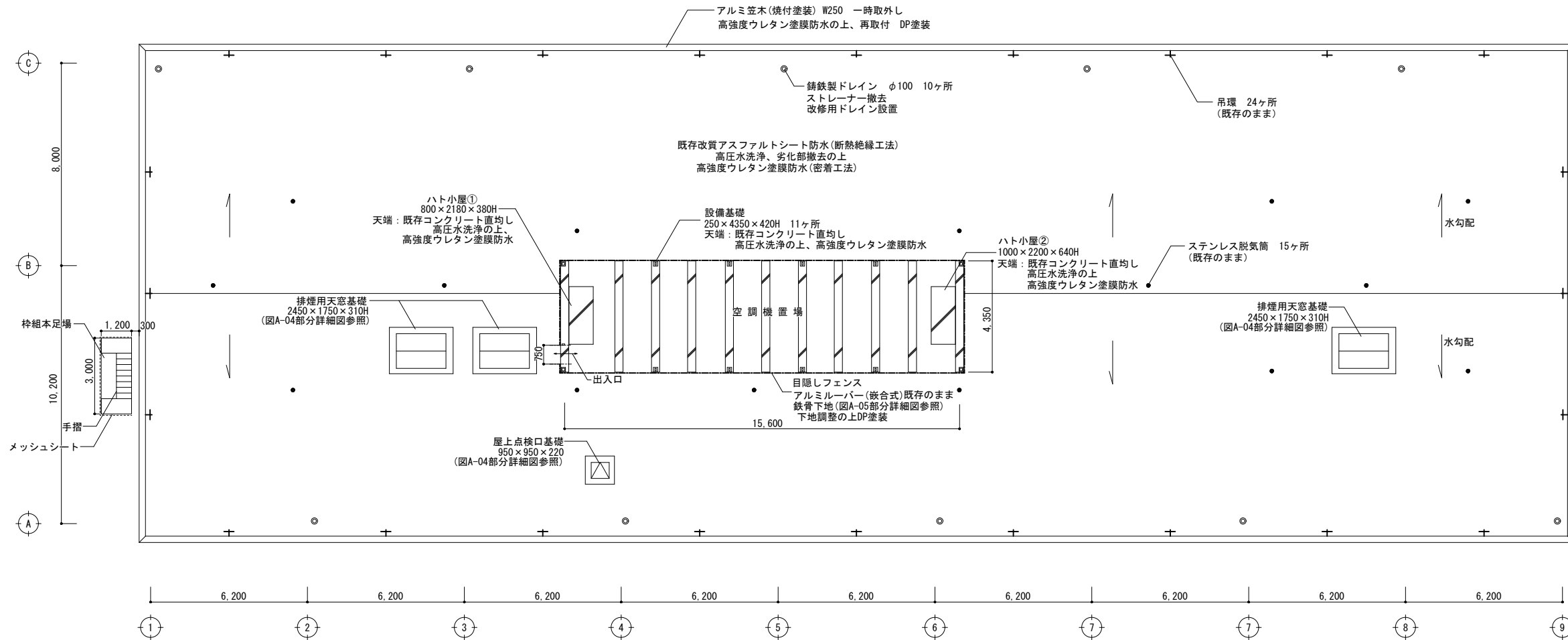
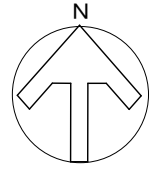
工事場所：北九州八幡東区平野2丁目2-1

案内図



配置図 A1:1/400 A3:1/800

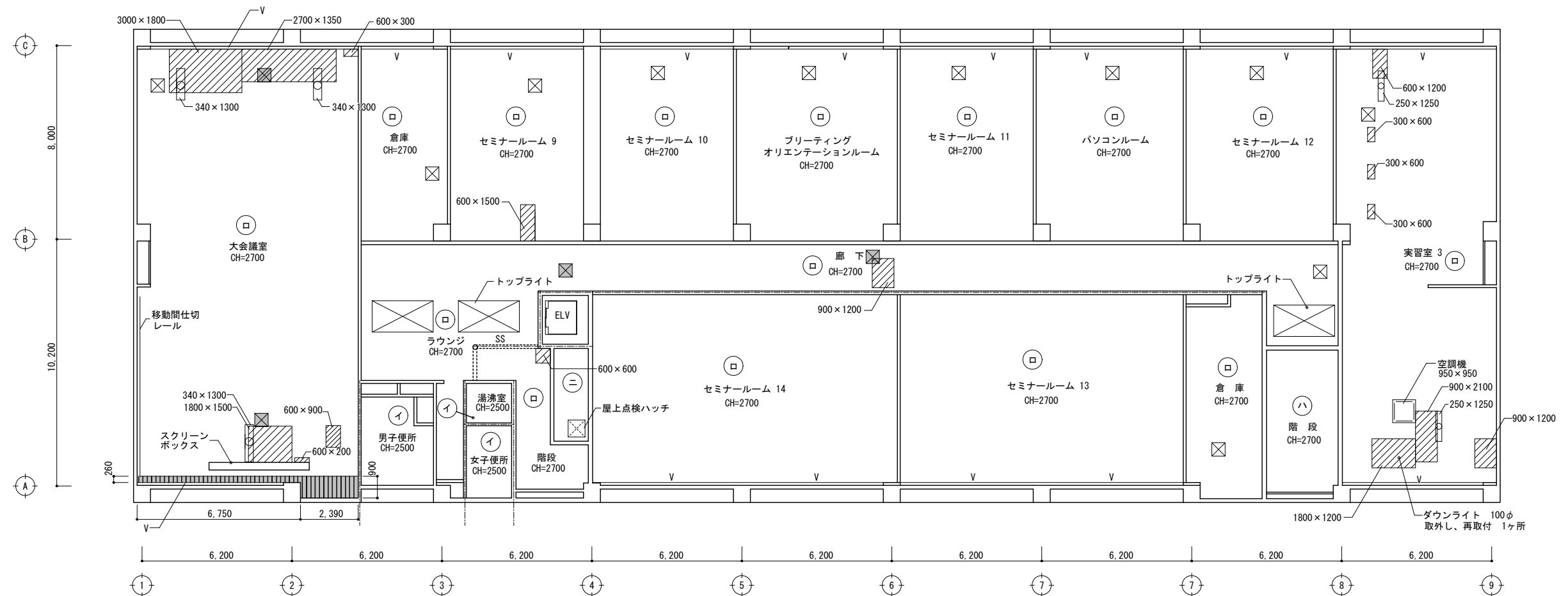
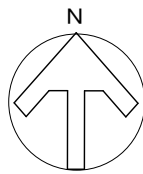
記 事	業務名称	2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事 設計・監理業務	工事名称	(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事	設計年月	令和2年12月
	図面名称	株式会社 緑企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録特1-11755号 一級建築士(大抵)第278279号 吉元 俊治	図面名称	案内図・配置図	縮尺	A1:1/400 A3:1/800
					図面番号	A-01



- ・高圧水洗いの水圧は10~15MPaとする
- ・バラベット・機械基礎等の立上がりは、既存防水剤、押え金物共に非撤去とする
- ・シーリングは撤去更新する
- ・ふくれなど既存防水の劣化部分は撤去し、メーカー指定の材料で補修の上、新規防水を施工すること
- ・施工にあたり、既存の吊環等を利用し親綱を張り、ハーネス型の安全帯を使用する等、落下防止対策を行うこと。
- ・改修後 高強度ウレタン塗膜防水の平場は防滑仕様とする

R階平面図 A1: 1/100 A3: 1/200

記 事	業務名称	2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事 設計・監理業務	工事名称	(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事	設計年月	令和2年12月
	図面名称	株式会社 緑企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録特1-11755号 一級建築士(大抵)第278279号 吉元 俊治	図面番号	R階平面図	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200
					図面番号	A-02



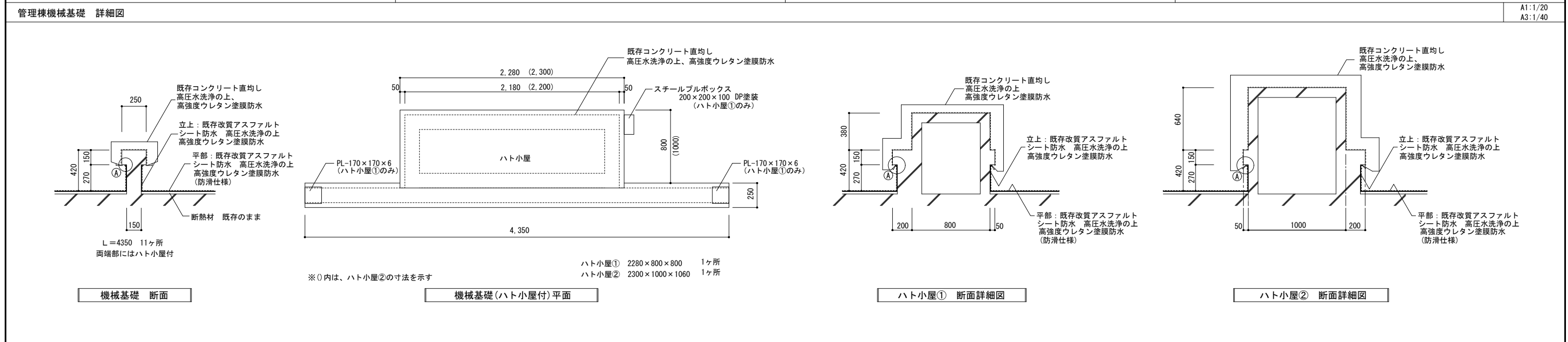
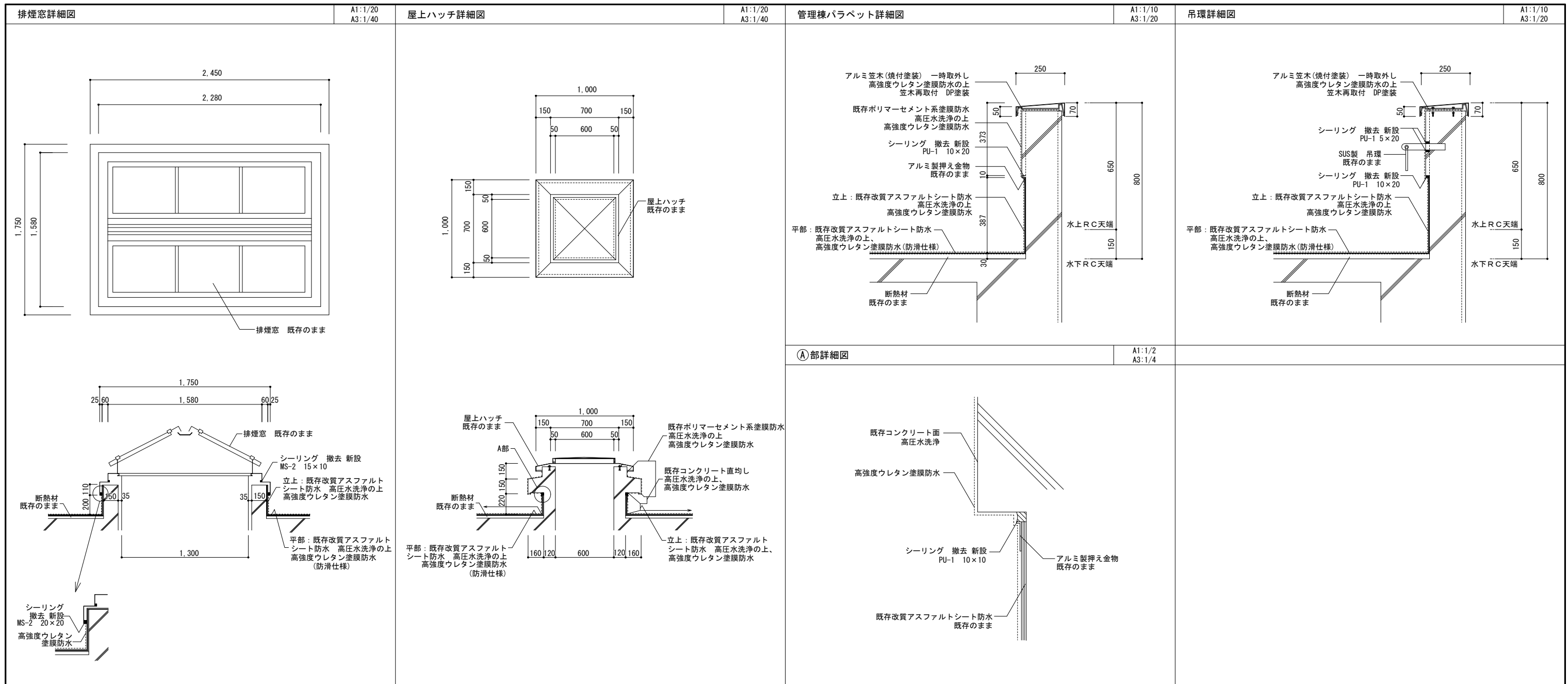
凡例

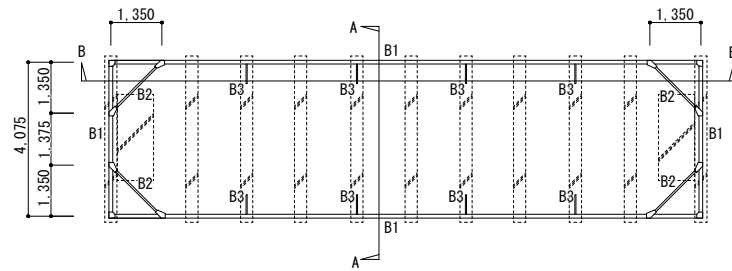
- 撤去・新設範囲を示す (捨貼り共)
- 天井 EP-G塗り範囲を示す
- 天井点検口 450角 撤去 新設
- 天井点検口 450角 既存のまま
- 蛍光灯 取外し、再取付 5ヶ所

天井仕上表

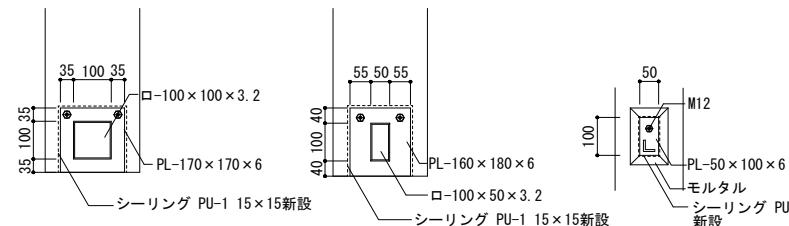
符号	仕上
イ	軟質石綿板 t6 EP
ロ	岩綿吸音板 t12 石膏ボード t12.5捨貼
ハ	石膏ボード EP
ニ	コンクリート打放シ
V	ブラインドボックス

3階天井伏図 A1: 1/100 A3: 1/200

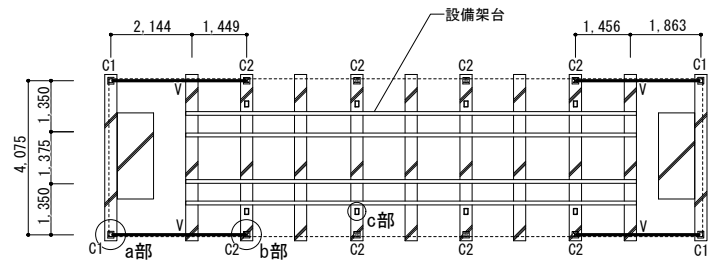




鉄骨下地平面図 A1:1/100 A3:1/200



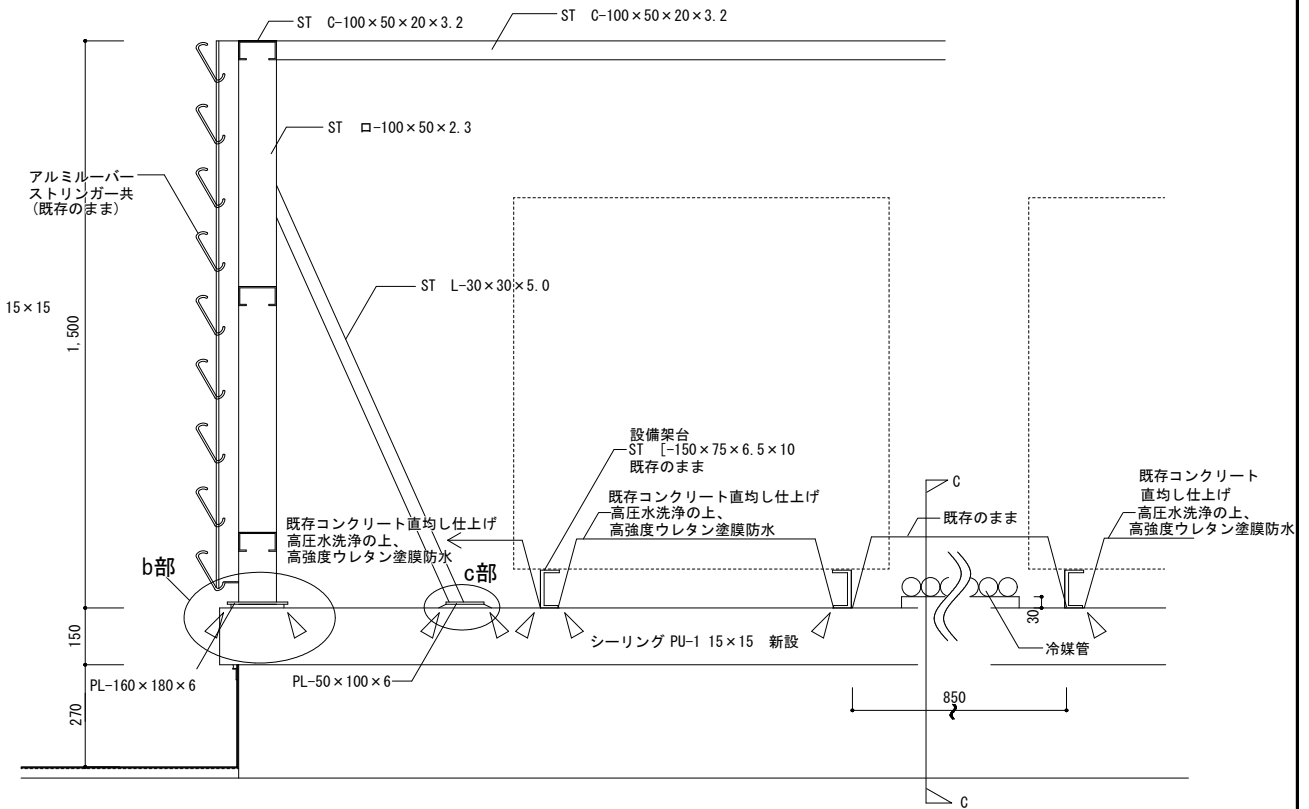
a部 詳細図 A1:1/10 A3:1/20 b部 詳細 A1:1/10 A3:1/20 c部 詳細 A1:1/10 A3:1/20



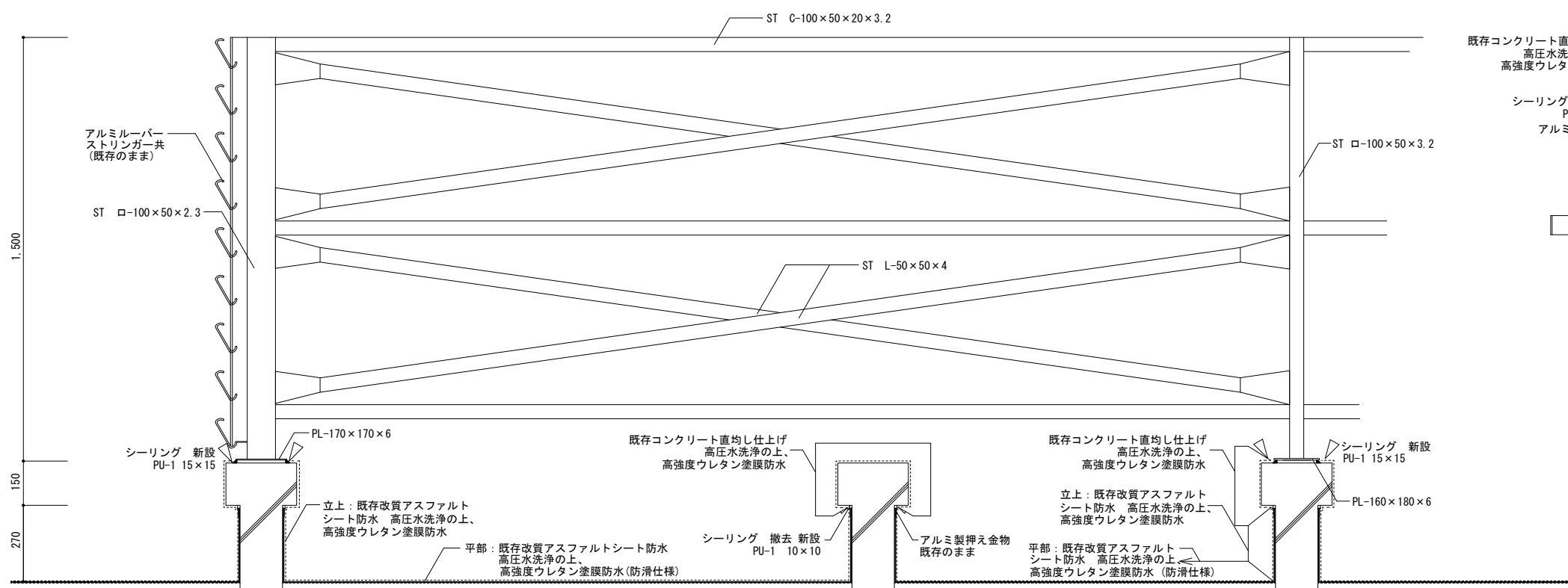
基礎・柱脚部平面図 A1:1/100 A3:1/200

符号	部材サイズ
C1	ST 100×100×3.2
C2	ST 100×50×3.2
B1	ST C-100×50×20×3.2
B2	ST L-50×50×3.2
B3	ST L-30×30×5.0
V	ST L-50×50×4.0

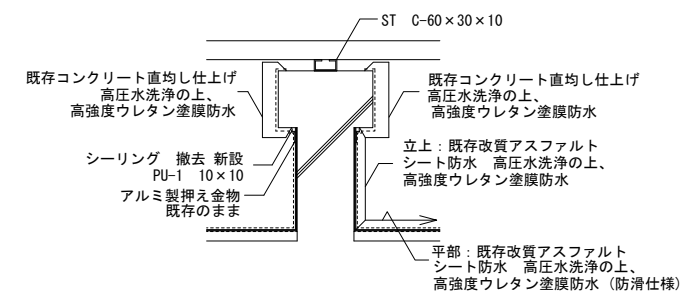
※特記なき鉄部は下地調整の上 DP塗装 (1種) とする



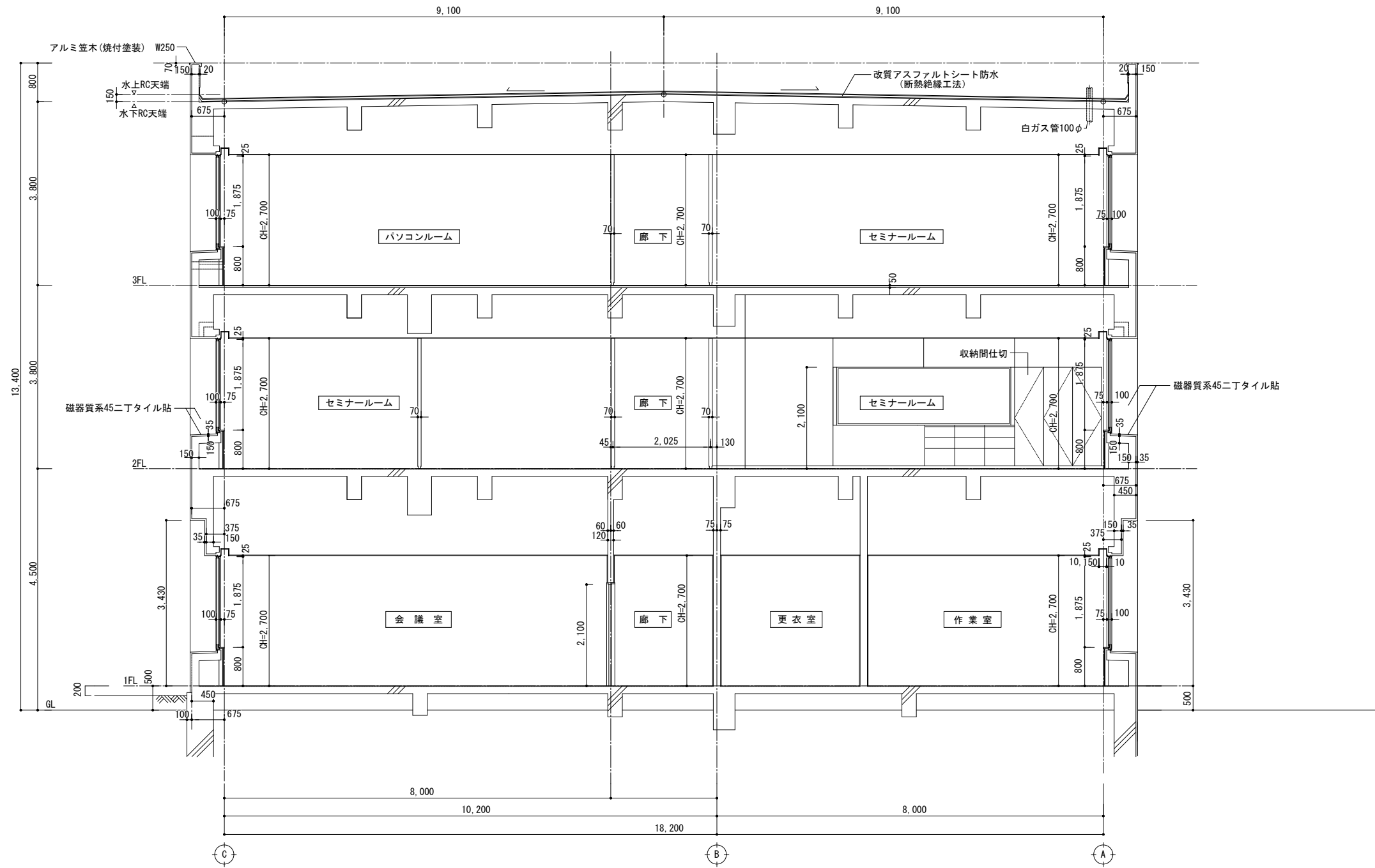
目隠しルーバー鉄骨下地 A-A断面図 A1:1/10 A3:1/20



目隠しルーバー鉄骨下地 B-B断面図 A1:1/10 A3:1/20

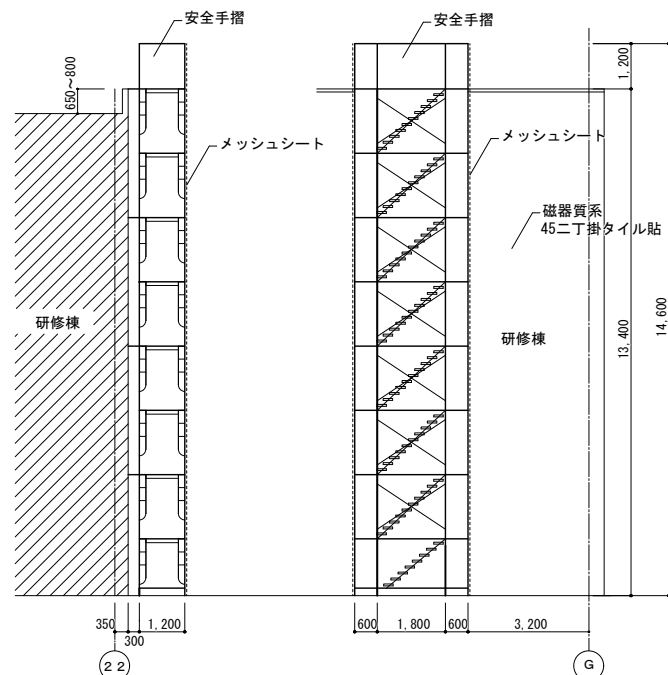


C-C断面図 詳細図 A1:1/10 A3:1/20



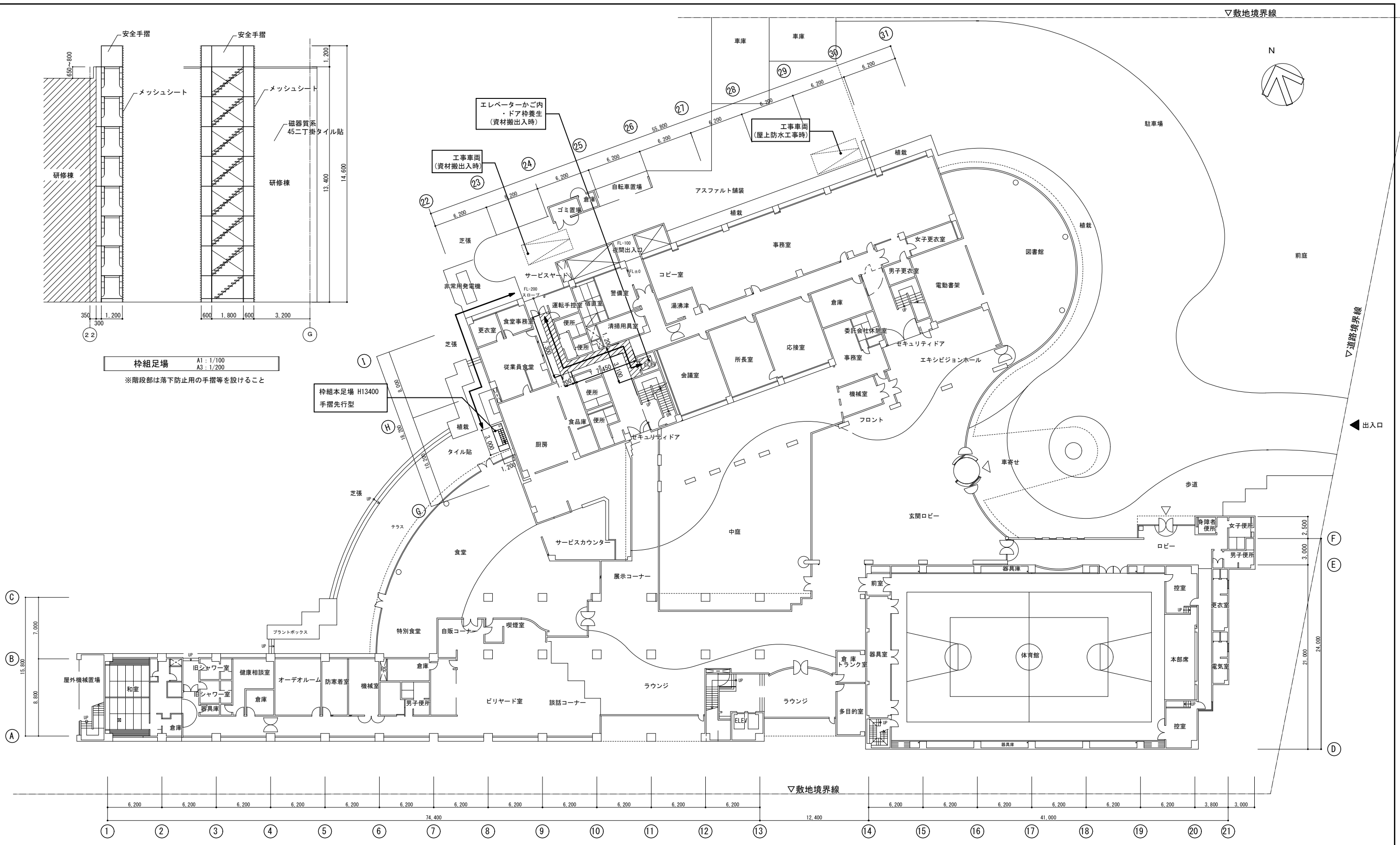
現況 矩計図 A1 : 1/50 A3 : 1/100

記 事	業務名称	2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事 設計・監理業務	工事名称	(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事	設計年月	令和2年12月
	図面名称	株式会社 緑企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録特1-11755号 一級建築士(大抵)第278279号 吉元 俊治	図面番号	現況 矩計図【参考図】	縮尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100
					図面番号	A-06



枠組足場 A1: 1/100
A3: 1/200
※階段部は落下防止用の手摺等を設けること

枠組本足場 H13400
手摺先行型

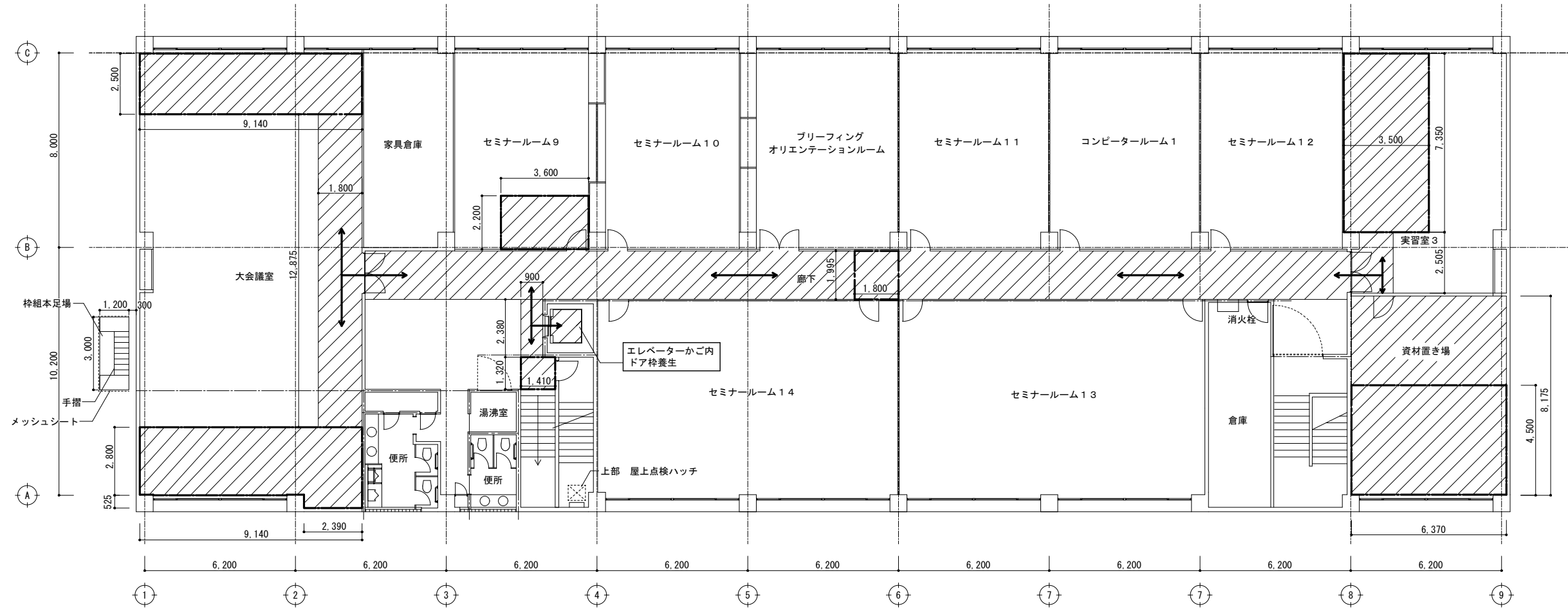
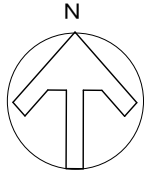


1階平面図 A1: 1/200
A3: 1/400

凡例

	床養生範囲を示す
	資材・廃材の搬出入路を示す

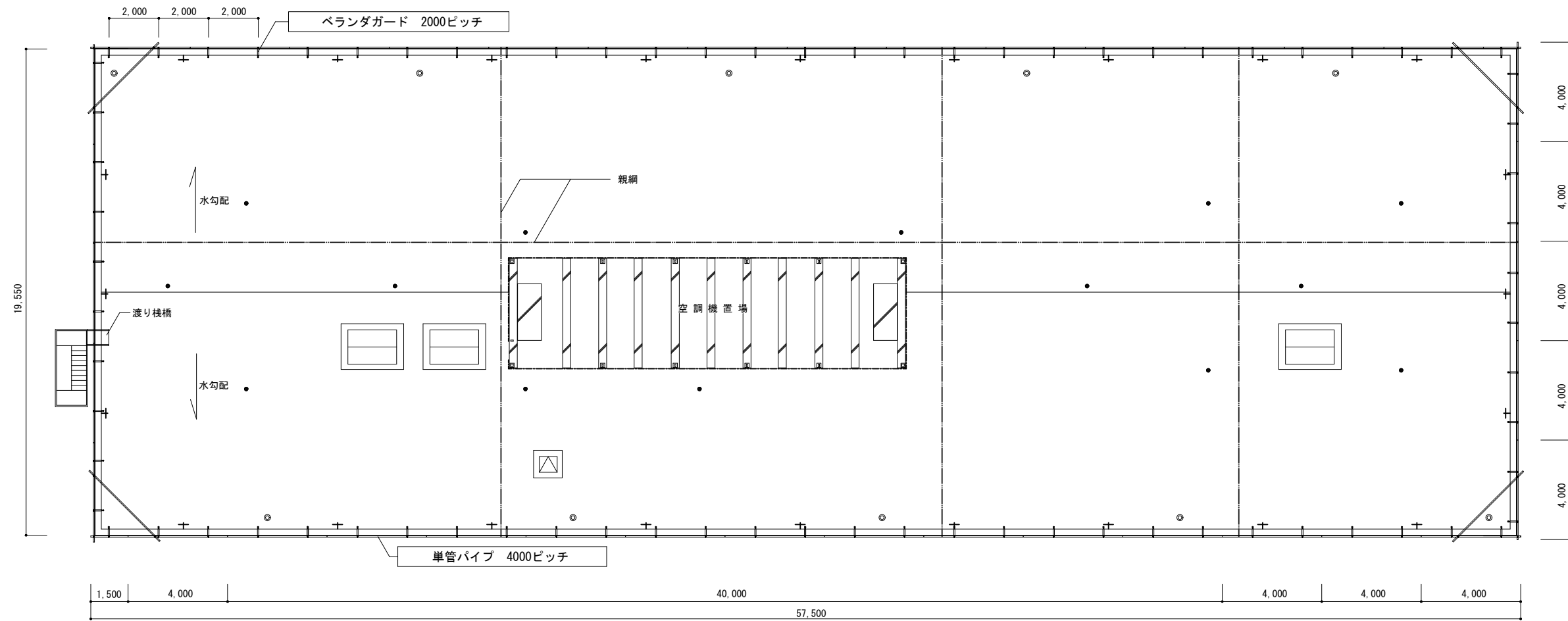
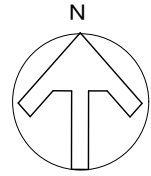
記 事	業務名称	2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事 設計・監理業務	工事名称	(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事	設計年月	令和2年12月
	設計者	株式会社 緑企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録特1-11755号 一級建築士(大抵)第278279号 吉元 俊治	図面名称	仮設計画図(1階平面図) 【参考図】	図面番号	A-07



3階平面図 A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

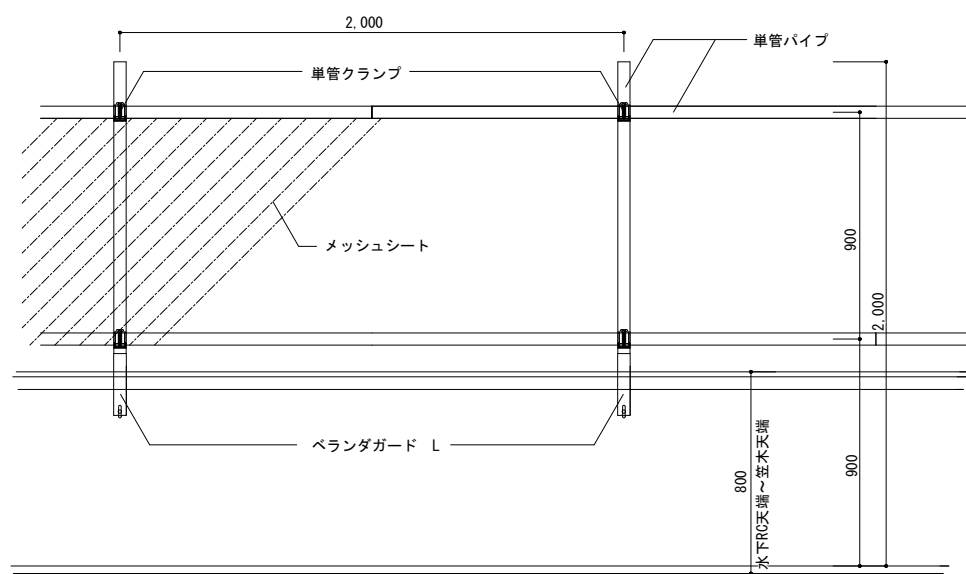
凡例	
	天井改修における養生範囲を示す
	仮設間仕切り C種 (床から天井下まで)
	資材・廃材の搬出入路を示す

記 事	業務名称	2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事 設計・監理業務	工事名称	(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事	設計年月	令和2年12月
	図面名称	株式会社 緑企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録特1-11755号 一級建築士(大抵)第278279号 吉元 俊治	図面番号	仮設計画図(3階平面図)【参考図】	縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200
					図面番号	A-08

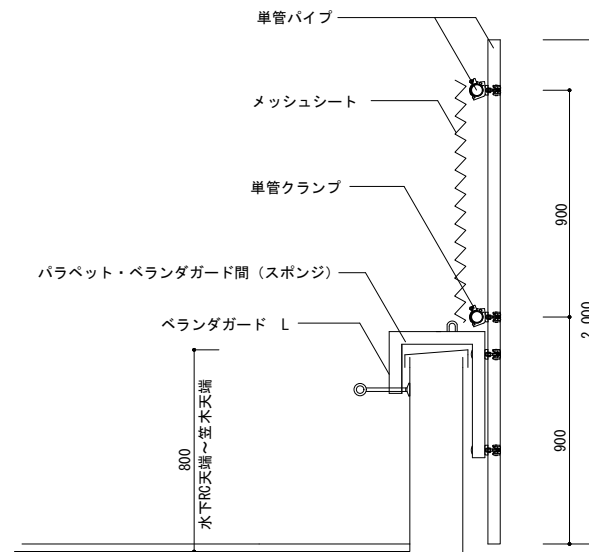


R階平面図 A1: S=1/100
A3: S=1/200

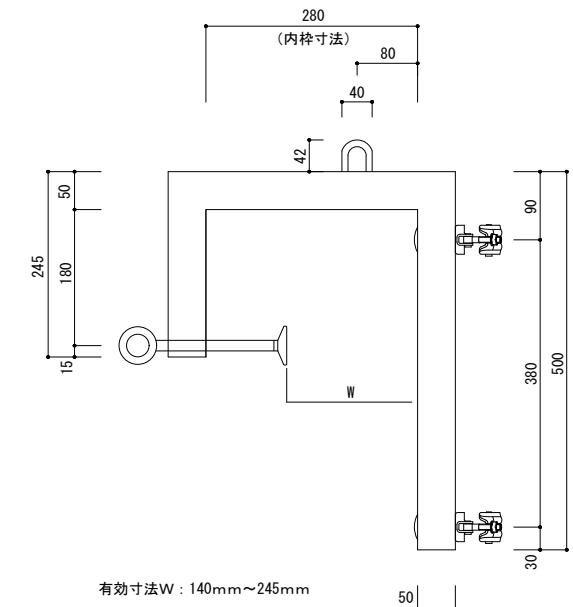
・風崩防止対策として親網を 長手方向30m×2本 短手方向25m×3本 に設ける。



ベランダガード取付け立面詳細図 A1: S=1/15
A3: S=1/30



ベランダガード取付け断面詳細図 A1: S=1/15
A3: S=1/30



ベランダガードL詳細図 A1: S=1/5
A3: S=1/10

記 事	業務名称	2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事 設計・監理業務	工事名称	(仮称)2020年度九州センター管理研修棟屋上防水工事	設計年月	令和2年12月
	図面名称	株式会社 緑企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録特1-11755号 一級建築士(大抵)第278279号 吉元 俊治	図面名称	仮設計画図(飛散防止対策)【参考図】	縮尺	図示
					図番	A-09